

# 土佐清水市漁業士連絡協議会の活動支援

土佐清水漁業指導所 田中 舜和

## 1 要約

土佐清水市漁業士連絡協議会（以下、同会）は、後継者指導や地域漁業の振興を目的に、活動を行っている。当所は同会の事務局として各種活動を支援しており、令和5年度は、各種会の開催、魚食普及活動、研修会の実施および産業祭への出店などを支援した。

## 2 背景及び目的

漁業士とは、地域漁業の発展や漁業後継者の確保育成に貢献するものとして、都道府県知事が認定するもので、優れた漁業経営を行い地域における指導的役割を担う者を指導漁業士、意欲的に漁業に取り組み、地域のリーダーとして先導的役割を担う青年を青年漁業士として位置づけている。

同会は、平成6年に土佐清水市の漁業士が組織したもので、令和5年度の構成員は指導漁業士13名と同年に新たに認定された青年漁業士3名の計16名となっている。、地域漁業の発展に貢献することを目的として、先進地視察や他地域漁業者との交流を通して漁業技術・経営の向上を図るとともに、魚食普及活動や産業祭への出店によって後継者育成や地元水産物アピールといった活動を行っている。

当所は、同会の事務局として各活動が円滑にできるよう支援するとともに、活動促進のための情報収集を行った。

## 3 普及の内容及び特徴

### （1）総会及び役員会の開催

同会の運営に重要な会議実施を事務局として支援し、役員会1回及び総会1回を開催した。

### （2）魚食普及活動

同会では、土佐清水市で獲れた魚を使用し、参加者に捌き方および調理方法を教えることで、地元で獲れる魚のおいしさを知ってもらい、各家庭での魚食機会の増加に向けた魚食普及活動を行っている（図1）。当所は調理メニューの提案、各施設の担当者との活動内容の打合せおよび当日使用する魚の確保などを支援した。

### （3）研修会・交流会の実施および参加

令和5年度に同会は豊洲市場への視察研修、芸東地区沿岸漁業協議会との交流会を実施し、当

所はそれぞれの開催を支援した。

#### (4) 土佐清水市産業祭への出店

令和5年12月2日に土佐清水市で開催された「土佐清水市産業祭」において、魚食普及および地域水産業の振興を目的とした漁獲物の出店販売を支援した(図4)。

### 4 成果及び活用

#### (1) 総会及び役員会の開催

表1に令和5年度の総会および役員会の開催実績を示した。令和5年8月8日に開催された役員会では高知県漁協清水統括支所所属の漁業者3名を漁業士に推薦することとなった。そして当漁業者3名は同年の漁業士認定委員会の審査会において認定を受け、新たに青年漁業士となった。

同会は、平成6年の発足以降、様々な活動を行ってきたが、現在同会に所属している指導漁業士13名の平均年齢は66歳と高く、さらに令和5年度末で2名が認定を辞退した。平成17年度から昨年度までは新規加入者がおらず、漁業士の後継者確保が急務となっていたところ、同会および各機関の推薦により今年度3名の青年漁業士が参入し、活動への参加を開始した。後述した芸東地区沿岸漁業協議会との交流会においても、当該青年漁業士3名は東部の漁業者と積極的に情報交換を行っている場面もあり、同会の活動促進に向けた良い契機になると思われた。

令和6年3月12日に開催した総会では、当年度の活動実績及び収支決算の報告、令和6年度の活動計画及び収支計画についての協議が行われた。

#### (2) 魚食普及活動

表2に令和5年度の魚食普及実績を示した。当活動は総じて参加者の評価が高く、特に子育て支援施設「どんぐりっこ」で2回実施したイベントの後に実施したアンケートでは、「家庭での魚料理の割合を増やしたい」との回答が100%であったため、当活動は魚食の普及において有意義なものと感じた。また、「今後も続けていくべき」との意見も多く、今後も継続して取り組みたいと考えている。

#### (3) 研修会・交流会の実施および参加

表3に令和5年度の研修会および交流会の開催実績を示した。豊洲市場への視察研修では、仲卸業者A社の担当者による案内のもと鮮魚およびマグロのセリを見学し、産地や価格、豊洲市場の特徴などの情報を収集した(図2)。見学後は、仲卸業者A社および荷受け業者B社とマグロ類のヤケに関することや鮮魚の取扱いなどについて協議を実施した。協議では、高知沖は水温が高くマグロ類にヤケが出る可能性が高い印象があることや、漁獲後速やかに魚体を保冷することの重要性などの情報提供を受けた。この視察研修を通して、消費地市場の動向やマグロ類や鮮魚の取扱いについて受けた情報を参加者各自が地域の漁業者や定置網業者へ共有する取組を行っており、地域漁業の振興に繋がったと考えられた。

芸東地区沿岸漁業協議会との交流会では、室戸地区沿岸漁業協議会から、サメによる漁業被害が頻発する中で、長年サメ駆除を実施している土佐清水の漁業者と駆除方法について意見交換を実施したいとの依頼を受け、交流会の実施に至った。会では、サメ駆除の他にもキンメ釣漁業に関する情報共有やメジカ曳縄漁、サバ立縄漁に関する漁法の紹介など、有意義な意見交換の場となった（図3）。

#### （4）土佐清水市産業祭への出店

表4に令和5年度の産業祭における収支実績を示した。同会は新型コロナウイルス感染症の影響で1年振りの出店となったが、地元住民からの期待も大きく、出品物は1時間程度で完売となった。一方、出品物であるクエの切り身は数量に限られ、開場と同時に客が殺到して混雑することを回避するために、あらかじめ整理券を配布しているが、これによりイベント開始前から完売の状態となってしまふ。人気があり評価の高い商品であるため、買えなかった数人の客からは苦情が寄せられていることもあり、販売方法については今後改善していく必要がある。

また、例年実施している視察研修の資金は土佐清水市からの助成金に加えて産業祭での収益を当てており、産業祭への出店は魚食普及および地域水産業の振興や同会の活動資金の確保のために重要なものとなっている。当所は同会に対して今後も視察等を通じた他地域の漁業関係者との交流や地域水産業の振興に繋がる取組などを提案することによって、同会の活動を促進しながら継続できるよう担当者自身が積極的に情報収集していきたい。



図1. 魚食普及活動の様子



図2. 豊洲視察研修の様子



図3. 芸東地区沿岸漁業協議会との交流会の様子



図4. 産業祭出店の様子

表 1. 総会および役員会の開催実績

会議名	日時	場所	参加者	協議内容
第 1 回土佐清水市漁業士連絡協議会役員会	令和 5 年 8 月 8 日	土佐清水合同庁舎 3 階会議室	漁業士 6 名 当所 1 名	・青年漁業士の推薦について ・産業祭への出店について
令和 5 年度土佐清水市漁業士連絡協議会通常総会	令和 6 年 3 月 12 日	高知県漁協清水統括支所 2 階会議室	漁業士 15 名 当所 2 名	・令和 5 年度活動実績、収支報告、監査報告 ・令和 6 年度活動計画、収支計画

表 2. 魚食普及活動実績

実施日	実施場所	参加者	講師	内容
令和 5 年 6 月 8 日	土佐清水市中央公民館	子育て支援施設「どんぐりっこ」に通う児童の保護者 4 名	漁業士 3 名と その妻 1 名 当所 3 名	・サバの捌き方指導 ・魚の南蛮漬け、フリッター作り ・魚のだし汁作り
令和 6 年 1 月 11 日	土佐清水市中央公民館	子育て支援施設「どんぐりっこ」に通う児童の保護者 13 名	漁業士 4 名と その妻 2 名 当所 4 名	・アジの捌き方指導 ・アジとブリの漬け井作り
令和 6 年 2 月 8 日	清水高等学校	清水高校 1 年生 20 名	漁業士 4 名と その妻 2 名 当所 4 名	・メジカの捌き方及びすり身作り指導 ・すり身天ぷら、つみれ汁作り ・魚飯作り

表 3. 研修会および交流会の開催実績

会議名	日時	場所	参加者	協議内容
豊洲市場の視察研修	令和 5 年 7 月 3 日 ～ 7 月 5 日	まるごと高知（東京店） 東京都中央卸売市場（豊洲市場）	漁業士 7 名 当所 1 名	・まるごと高知視察 ・豊洲市場視察（鮮魚・マグロのセリ） ・仲卸業者および荷受け業者とマグロ類の高鮮度処理などについての協議
芸東地区沿岸漁業協議会との交流会	令和 5 年 11 月 10 日 ～ 11 月 11 日	高知県漁協清水統括市場 土佐清水合同庁舎 3 階会議室	漁業士 12 名 当所 2 名	・近年の漁況について ・サメによる漁業被害および駆除について ・メジカ曳縄、サバ立縄漁法について

表 4. 産業祭での収支実績

出品物	収入	支出	収支
クエの切り身 ・身、アラセット×73パック ・アラのみ × 1 パック ・内臓 × 13 パック	339,600円	220,134円	119,466円
ウツボの干物 ・面売り × 30 枚 ・250g/パック × 24 パック			